

～KENGIの健康経営～（大阪建築技術協会の健康経営について）

理事長あいさつ



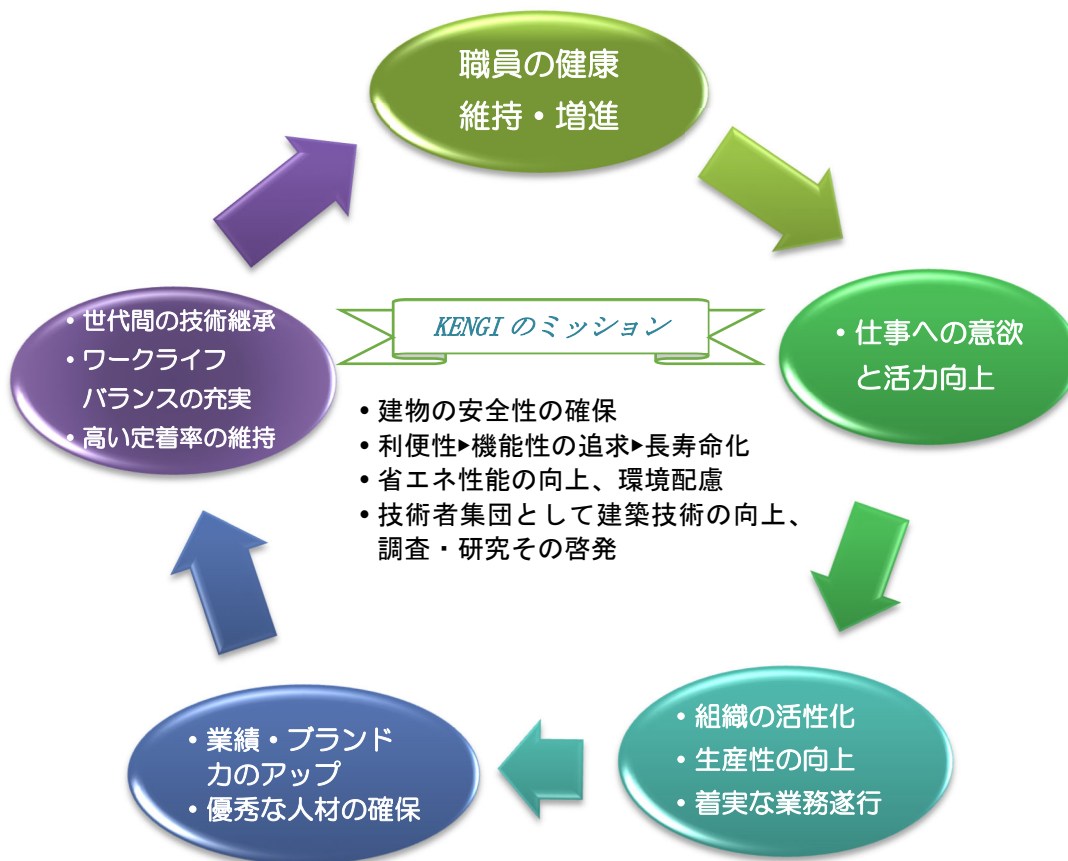
私たち大阪建築技術協会は、公共施設の整備保全を通じて、安心して心地よい都市環境の形成を支える技術者集団です。この使命と役割を果たすためには、信頼される組織づくりと職員が健康で元気に働ける職場づくりが必要と考えております。協会創立40周年を機に、より一層健康経営に取り組み、役職員の健康を追求し、組織の活性化と生産性の向上など、好循環環境を創り出し、KENGIのミッションを果してまいります。

大阪建築技術協会 理事長 野口 邦彦

基本方針

- 役職員の健康づくりに取り組み、その効果を最大限に活かすため、好循環環境を創出する『KENGIの健康経営サイクル』の確立を目指し、安心・安全を大前提とした公共建築物の整備保全など、快適に暮らせるまちづくりに貢献していく。

KENGIの健康経営サイクル ⇒ 好循環環境の創出



健康経営宣言

- 当協会は創立以来40年、公共施設の整備保全を通じて、安心して心地よい都市環境の形成を支えてきた技術者集団として、これからも使命と誇りをもって、その社会的役割を果たしていくために、健康経営に取り組み、役職員とその家族の健康を追求していきます。

具体的取組

- 35歳以上の役職員に健康診断として人間ドックの実施
- 60歳以下の役職員に遺伝子検査の実施
- 上記健康診断（人間ドック・遺伝子検査）の結果で要再検査対象の再検査受診率100%を目指す
- 40歳以上の節目年齢時の人間ドック オプション検査料（脳ドック等）の補助
- 役職員の配偶者人間ドック受診補助の実施件数のアップ
- 健康診断、ストレスチェック受診率100%の継続
- 産業医との連携強化⇒健康指導、喫煙率の低下、健康経営責任者との意見交換
- 健康イベントの実施⇒健康増進月間の取組み、健康ニュースの発行、健康体操の推奨
- 新型コロナウイルス感染予防対策
- インフルエンザ予防ワクチン接種補助
- 健康経営優良法人2024の認定申請



健康経営実施体制

- 健康経営責任者……………理事長
- 健康経営推進リーダー……………専務理事
- 健康経営推進委員……………各課長(5名)
- 健康づくりプロジェクトチーム……………企画総務課職員(3名)

取組の検証(PDCA)

- 健康経営責任者が方針を定め⇒健康経営推進リーダーが取組計画を策定⇒実施確認、検証、健康課題抽出⇒対応策、取組計画の再構築⇒健康経営上の弱みの解消・改善につなげる（方針⇒計画⇒取組⇒効果の検証⇒改善）

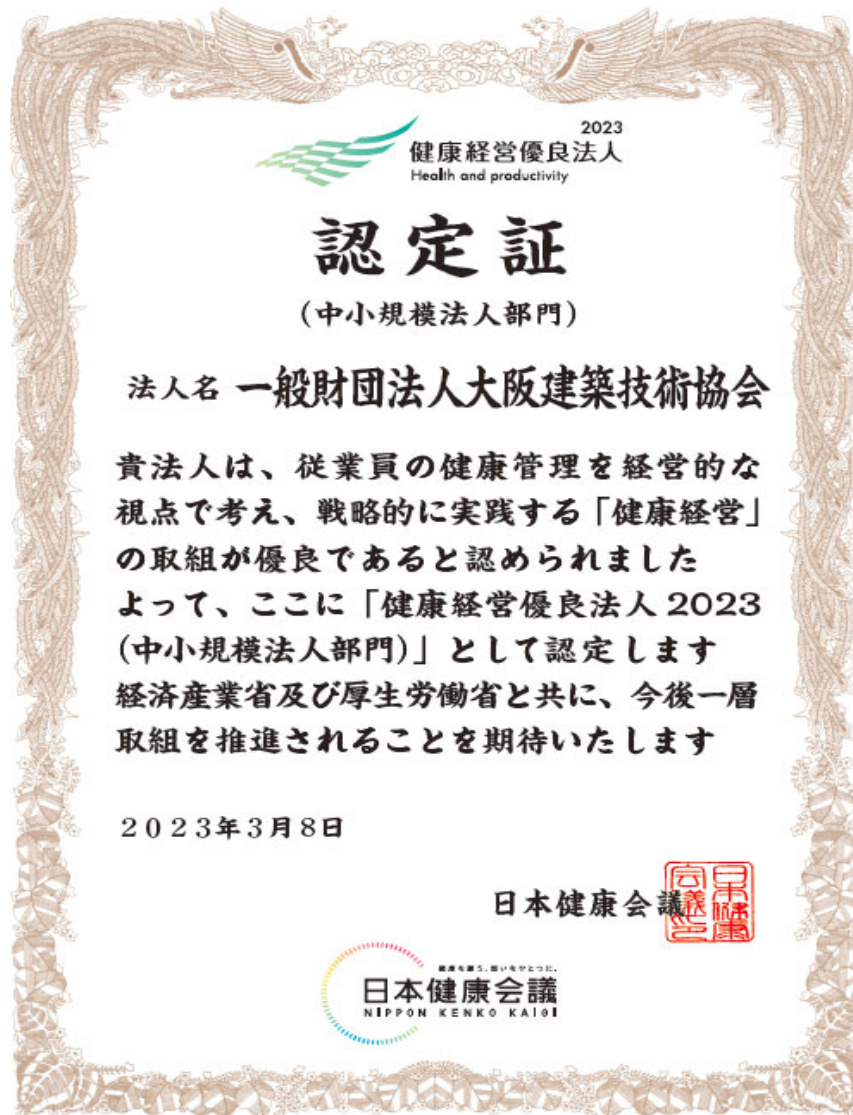


『健康経営優良法人2023』 に認定されました

一般財団法人大阪建築技術協会は職員の健康を考えた経営方針が評価され、経済産業省(日本健康会議)が主催する「健康経営優良法人2023」に認定されました。

「[健康経営優良法人認定制度](#)」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、優良な健康経営を実践している企業や医療法人等の法人を顕彰する制度です。

今後も、職員が長く健康で働くことができる職場づくりを目指して、健康維持・増進の取り組みを実践し、「健康経営」の推進に積極的に取り組んでまいります。



<参考情報>

- ・[健康経営優良法人 認定基準\(PDFファイル\)](#)
- ・[健康経営優良法人 認定法人一覧\(PDFファイル\)](#)